

アンケート調査結果

(アンケート実施状況)

■調査期間

平成 21 年 1 月 29 日 (配付) ~ 2 月 9 日 (回収) (2 月 20 日最終)

■配布・回収状況

社会実験	対象者	配布・回収方法	配布枚数	回収数	回収率
下田地区デマンド交通	利用者	利用実績 ^{※1} のある方をリストアップし、直接郵送・回収	292	236	80.8%
	非利用者	下田地区全世帯に配付 *下田地区自治会に配布・回収を依頼	3,000	1,043	34.8%
井栗地区デマンド交通	利用者	利用実績のある方をリストアップし、直接郵送・回収	23	19	82.6%
	非利用者	井栗・北野・白山地区全世帯に配付 *井栗・北野・白山地区自治会に配布・回収を依頼	700	294	42.0%
市街地デマンド交通	利用者	利用実績のある方をリストアップし、直接郵送・回収	207	140	67.6%
	非利用者	市街地地区住民 ^{※2} の中から、無作為に抽出し、直接郵送・回収	2,790	923	33.1%
高校生通学ライナーバス	下田地区 高校生	直接郵送・回収	322	100	31.1%
合計			7,334	2,755	37.6%

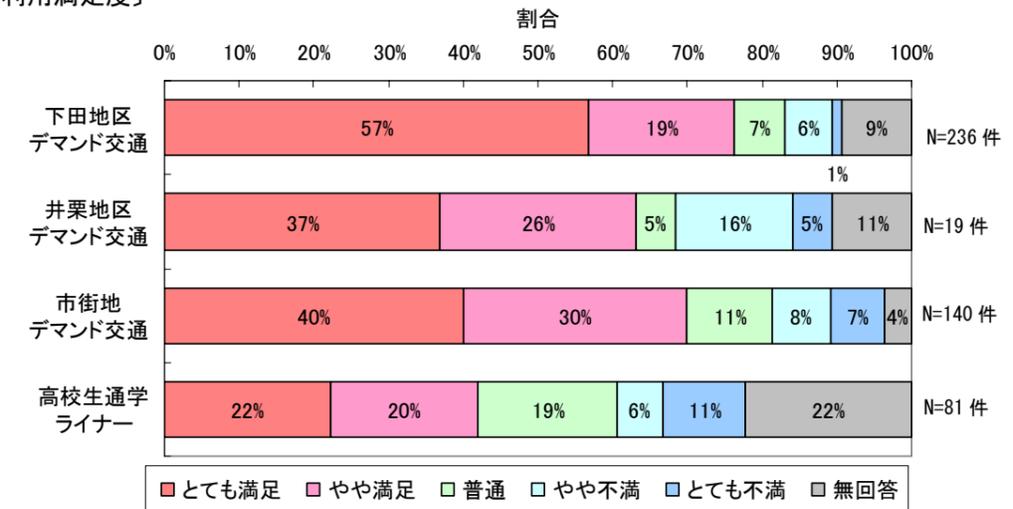
※1：実験開始～平成 20 年 12 月現在に利用した方

※2：三条小学校区、一ノ木戸小学校区、四日町小学校区、裏館小学校区、須頃小学校区、条南小学校区、南小学校区

①地域の公共交通利便性の向上

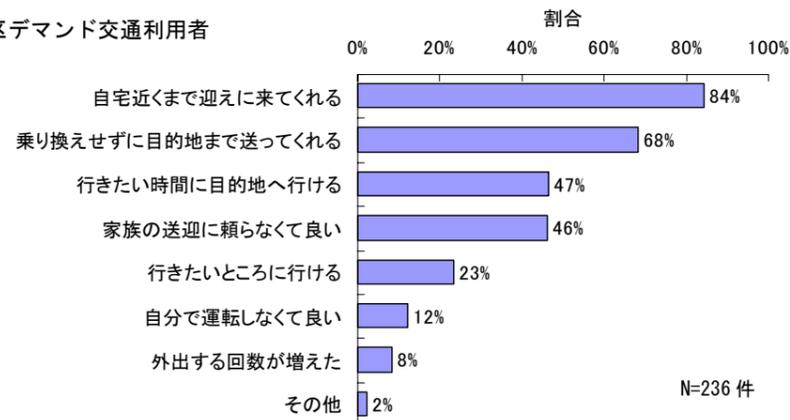
- デマンド交通に満足した方の割合(満足した+やや満足)は各実験ともに 6 割以上であり、最も高いのは下田地区デマンド交通の 76%であった。
- 一方で、高校生通学ライナーバスは、44%と低かった。
- 満足した点について見ると、デマンド交通では「自宅近くまで迎えに来てくれる」ことを挙げる方が多かった。
- 高校生通学ライナーバスでは、「バス利用料金が安くなった」が最も多かった。

〔利用満足度〕

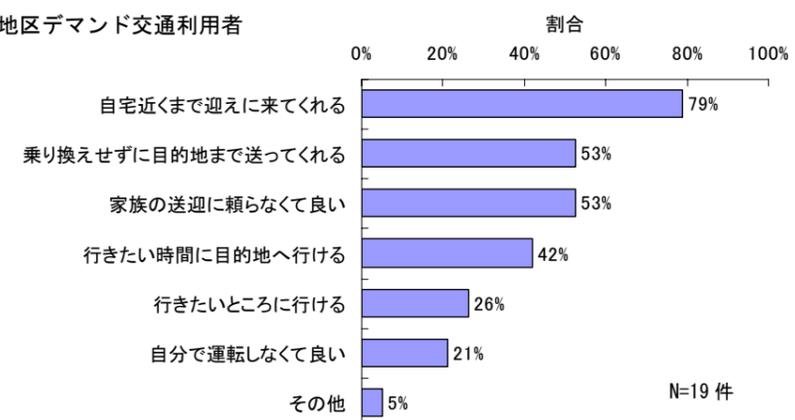


〔満足した点〕

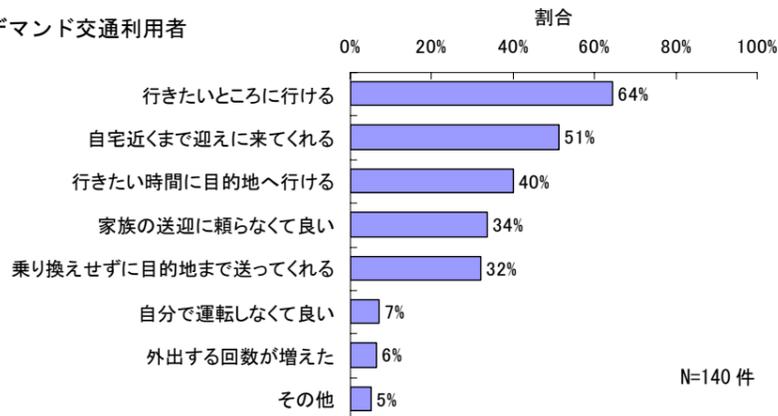
●下田地区デマンド交通利用者



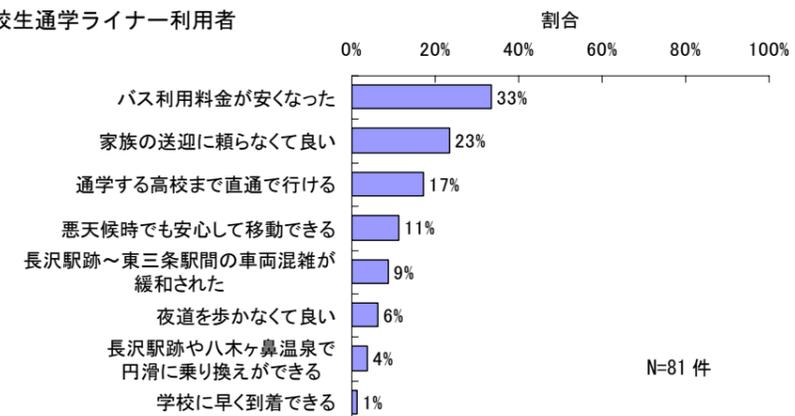
●井栗地区デマンド交通利用者



●市街地デマンド交通利用者



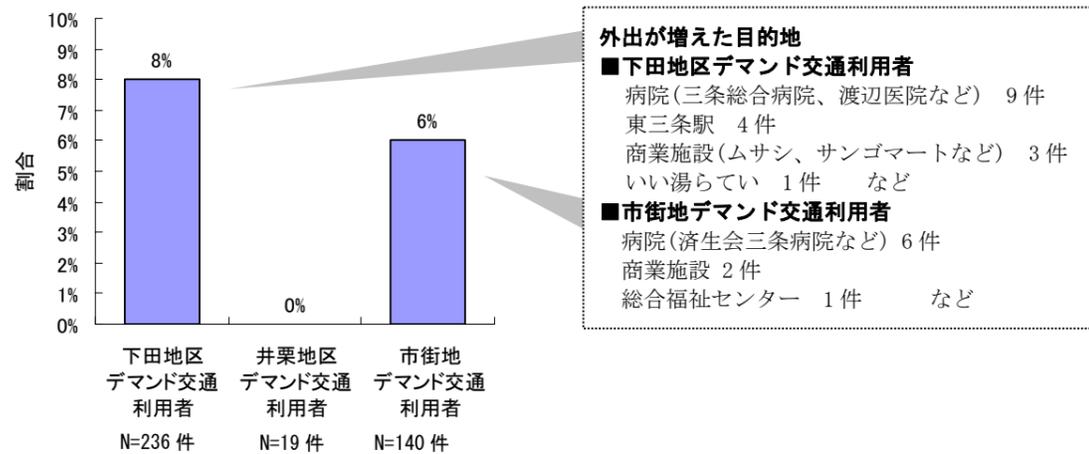
●高校生通学ライナー利用者



②外出機会の増加

- 下田地区デマンド利用者の8%と市街地デマンド交通利用者の6%が実験により「外出機会が増加した」ことを確認できた。
- また、外出が増えた目的地を見ると、病院が最も多かった。

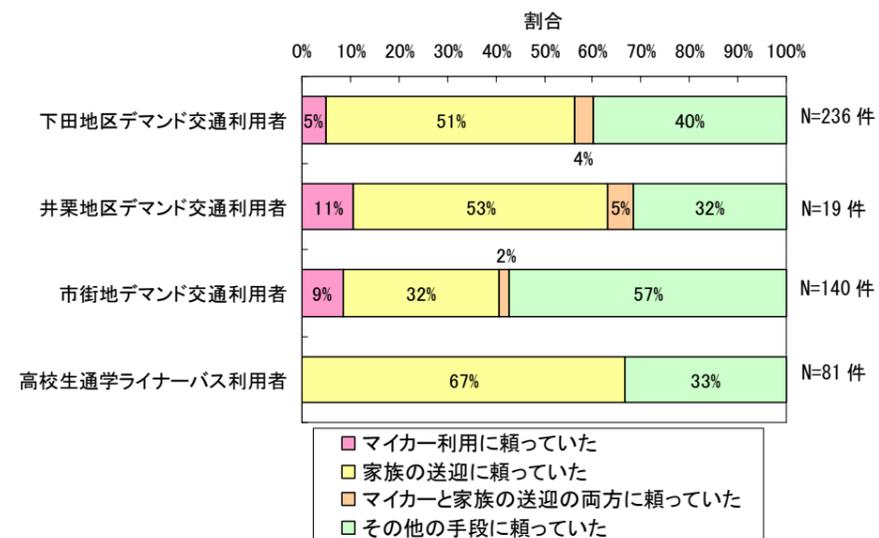
〔デマンド交通利用者のうち「外出する回数が増えた」と回答した方の割合〕



③送迎負担の軽減

- 下田地区および井栗地区デマンド交通利用者の5~6割が、実験前に家族の送迎に頼っていた。
- 高校生通学ライナーバス利用者では、約7割が実験前家族の送迎に頼っていた。

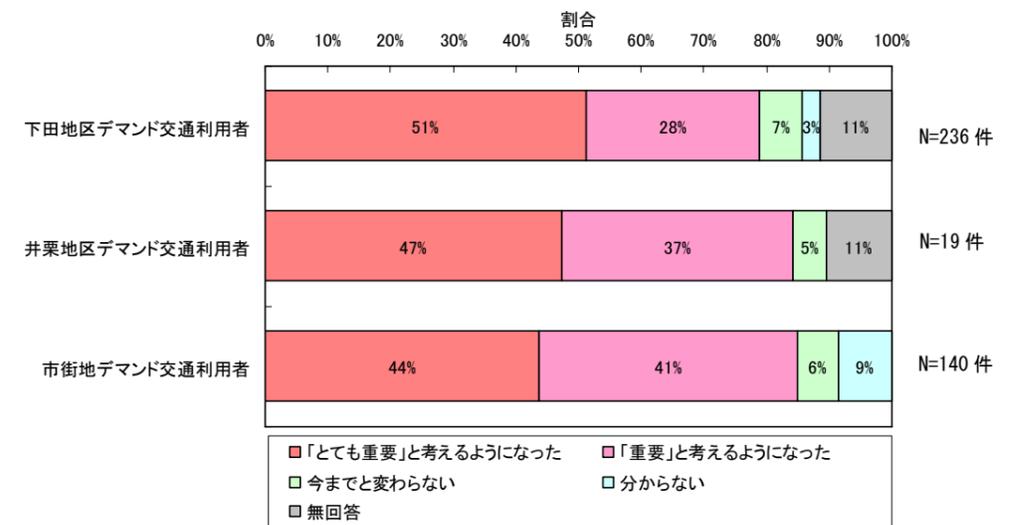
〔社会実験前のマイカーおよび家族送迎の依存割合〕



④公共交通の取り組みに対する意識の醸成

- デマンド交通利用者の約8割が、実験を通して公共交通の取り組みに対して「重要」と考えるようになった。

〔公共交通の取り組みに対する考え方の変化〕



⑤社会実験の認知度

- 下田地区の高校生の通学ライナーバス導入実験の認知度は100%であった。
- また、下田地区および井栗地区のデマンド交通非利用者の実験認知度は8割を越え、非常に高いが、市街地のデマンド交通非利用者は6割に実験が周知されていなかった。
- 認知媒体の内訳を見ると、下田地区および井栗地区のデマンド交通非利用者のうち約6割が、事前説明会とチラシで実験を知った。また、下田地区高校生の半数が家族や友人により実験を知った。

〔主な広報活動〕

■実験前

- 各世帯へのチラシ配布
- 下田・井栗地区における住民説明会の実施
- 広報誌等の情報掲載 など

■実験中

- デマンド登録者に対して、「デマンドバス通信」(市街地)、「ぐるっとさん通信」(下田・井栗)を配布し、目的地の追加などサービス変更内容の周知を徹底

The loop-line bus GurutoSan
通信 Vol.1

発行 平成20年12月5日
三条市地域公共交通協議会
事務局 三条市役所市民部環境課
電話：0256-34-5511 内線 255

はじめに
三条市地域公共交通協議会では、公共交通の技術的な見直しを行うため、10月14日からデマンド方式(予約乗合方式)によるバス運行の社会実験を開始しました。
この「ぐるっとさん通信」は、社会実験の実施状況や公共交通に関する情報を皆様にお知らせするために発行するものです。
社会実験期間中に不定期で発行しますので、よろしくお願いいたします。

お知らせ1
○当日予約が可能になりました!(土、日、祝を除く)
当日の予約が可能になりました。予約期間は利用日の1週間前から、当日乗車希望時間の2時間前までとなります。
* 不明な点は34-5511(内線255)まで連絡してください。

オペレーターさん紹介コーナー

— 予約時、お客様にお願いしたいことはありますか?
電話対応中に記録やコンピューター操作を行っているため、予約に少々お時間がかかりますが、気長に待っていただくとありがたいです。また、予約番号は必ず書きとめるようにしていただきたいです。
予約が集中すると、お客様の希望に沿った配車ができないことがありますので、早めにご予約していただけるようにお願いします。

Demand Bus
通信 Vol.1

発行 平成20年12月26日
三条市地域公共交通協議会
事務局 三条市役所市民部環境課
電話：0256-34-5511 内線 255

はじめに
この「でまんどバス通信」は、社会実験の実施状況や公共交通に関する情報を皆様にお知らせするために発行するものです。
社会実験期間中に不定期で発行しますので、よろしくお願いいたします。

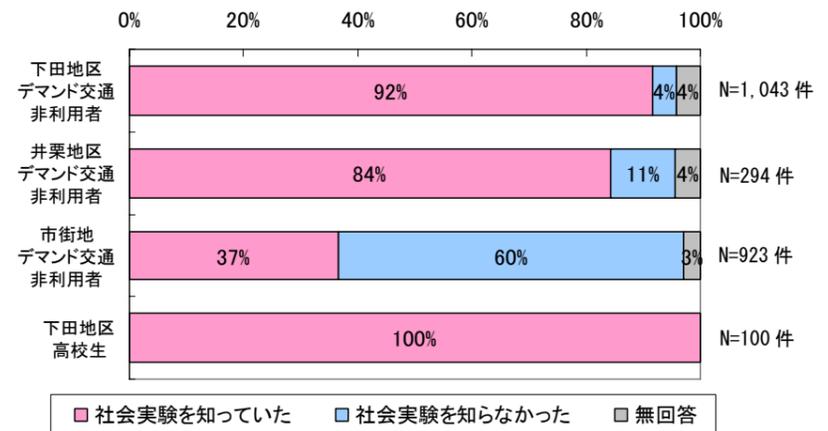
大切なお知らせ
○社会実験実施期間を延長します!
平成21年1月5日(月)～3月31日(火)まで、デマンド交通の社会実験を延長いたします。今後ともご利用をお待ちしております。

○土曜、日曜、祝日は運休になります。
休日の利用が少ないため、1月から土曜、日曜、祝日はデマンド交通を運休いたします。

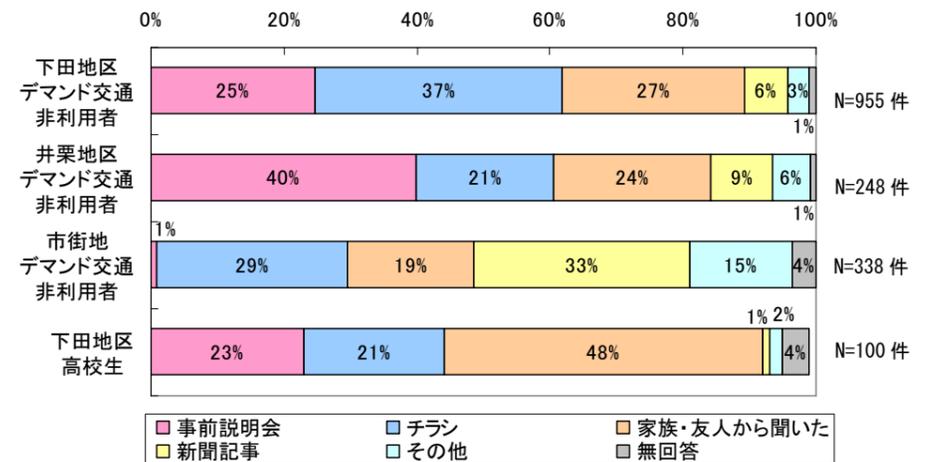
○年末年始は運休いたします。
12/31(水)～1/4(日)は運休いたしますので、ご注意ください。
また予約センターも年末年始はお休みしますので、1月5日(月)のバス予約は12月29日(月)と30日(火)、1月6日(火)のバス予約は12月30日(火)と1月5日(月)のみ受付となりますので、ご注意ください。
* 不明な点は34-5511(内線255)まで連絡してください。

予約電話のコツ
午前11時から午後3時半までは、電話が比較的繋がります。
また、1週間前から予約ができますので、お出かけの予定が決まった時点で早めのご予約をお勧めいたします。

〔デマンド交通非利用と下田地区高校生の実験認知度〕



〔実験認知媒体〕



⑥料金設定

- すべての実験において、現在の料金設定から100円程度増加しても現在の利用者の半数以上が「利用する」と回答した。
- また、井栗地区デマンド交通を除いて、概ね200円以上増額すると、現在の利用者の半数以上が「利用しない」と回答した。

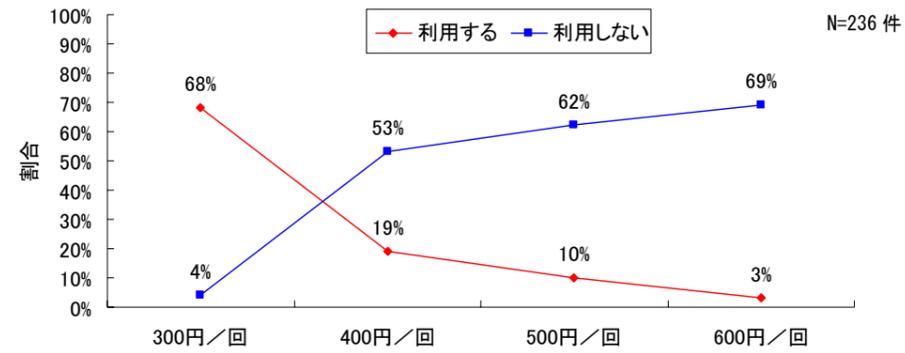
〔現在の利用料金〕

- 下田地区デマンド交通
下田地区内 200円/回 下田地区～市街地 500円/回
- 井栗地区デマンド交通
200円/回
- 市街地デマンド交通
150円/回(中高校生100円/回)

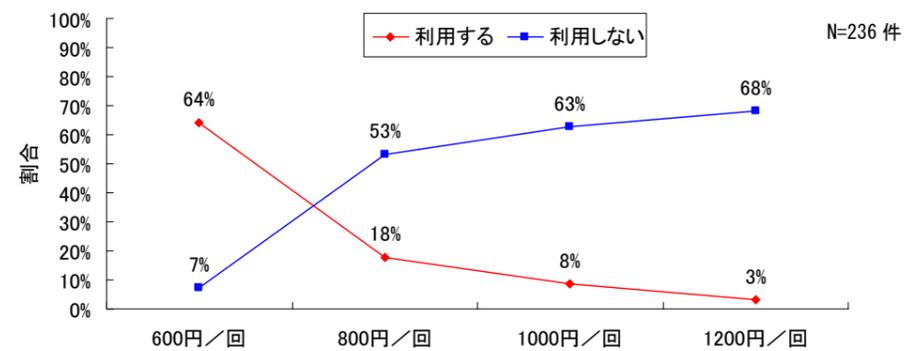
〔想定料金に対する利用意思〕

●下田地区デマンド交通利用者

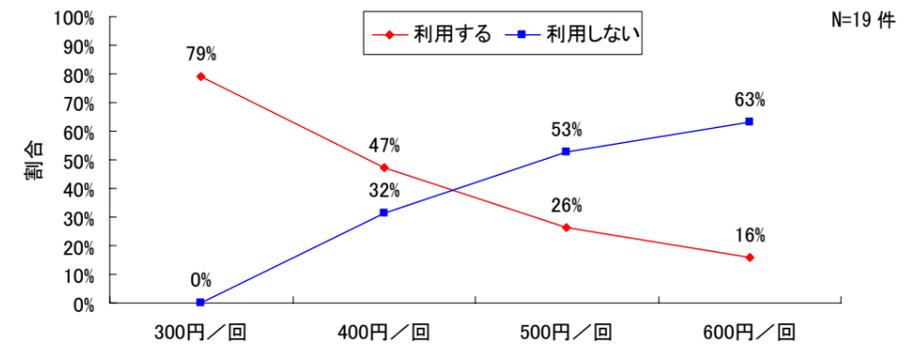
下田地区内の利用



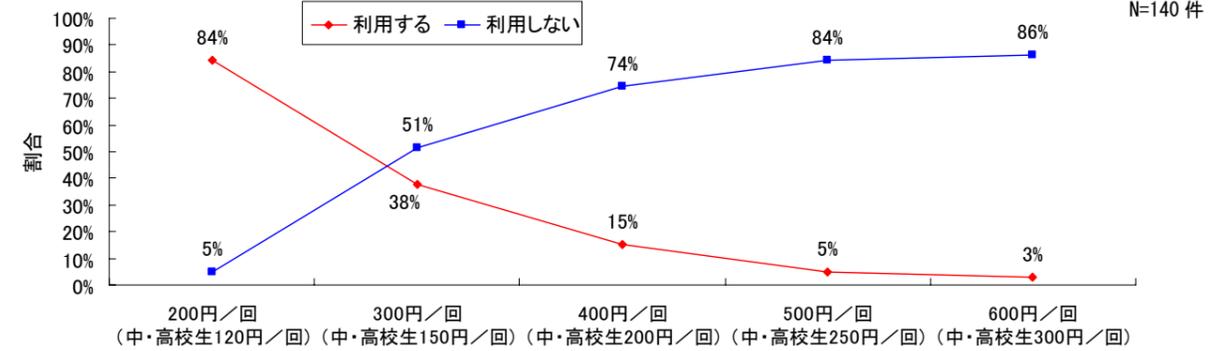
下田地区～市街地の利用



●井栗地区デマンド交通利用者



●市街地デマンド交通利用者

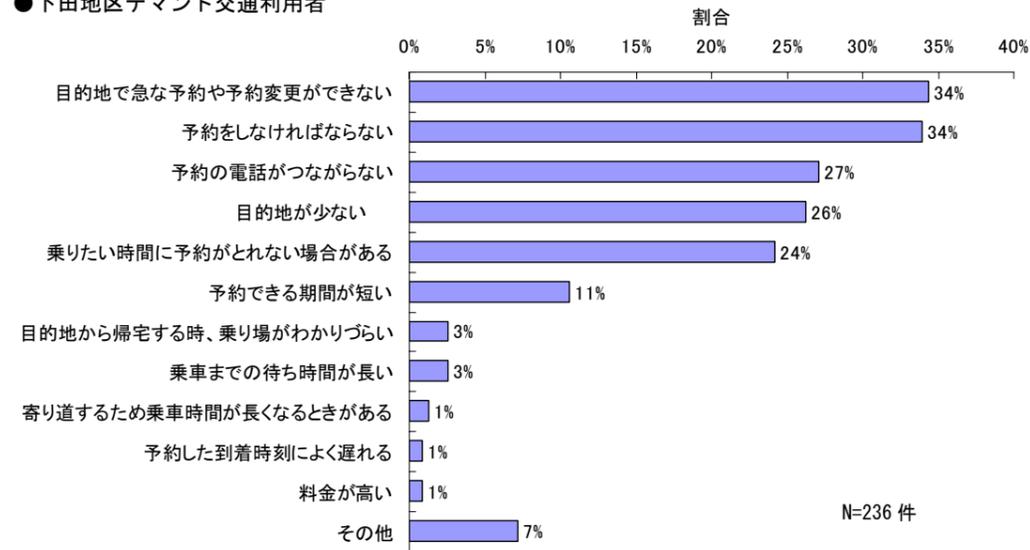


⑦利用者の改善ニーズ

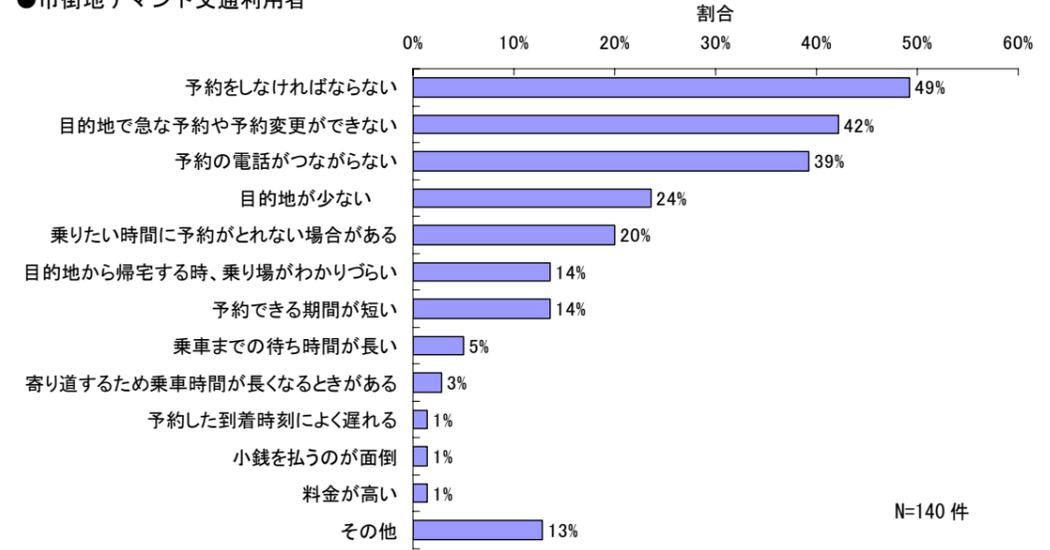
- デマンド交通利用者の不満な点を見ると、「予約の電話が繋がらない」「目的地で急な予約や予約の変更ができない」など予約に関する改善要望が上位を占めた。
- また、「予約」に次いで多いのが、「目的地が少ない」であった。
- 高校生通学ライナーバス利用者では、「利用したい時間に運行していない」「休日に運行していない」「乗り換えが面倒」「小銭を払うのが面倒」が上位を占めた。

〔社会実験の不満な点〕

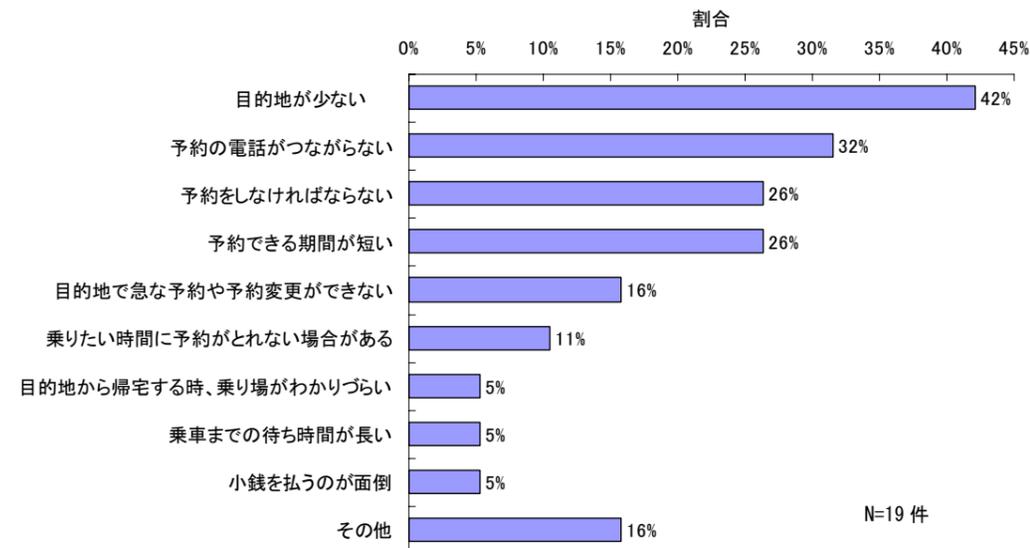
● 下田地区デマンド交通利用者



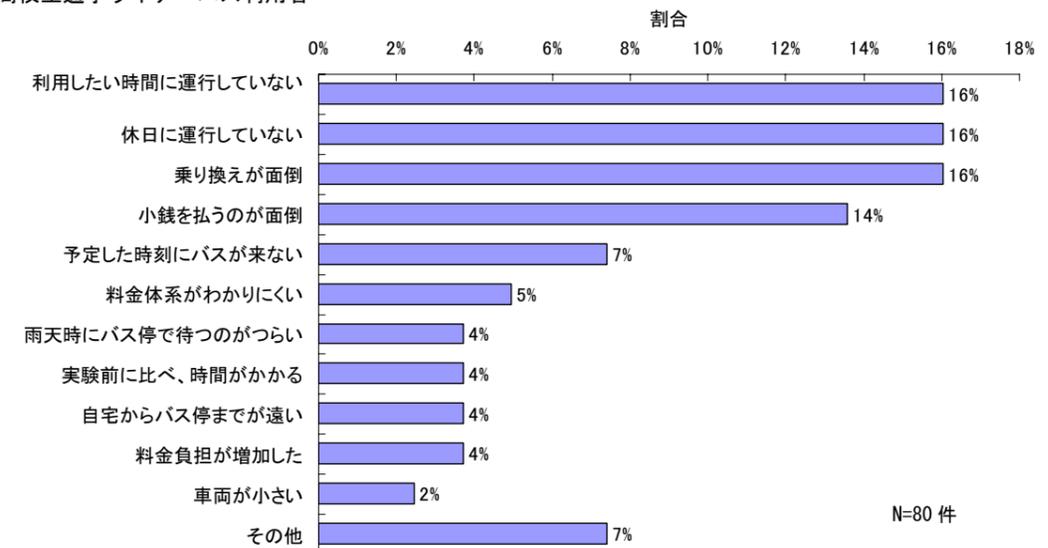
● 市街地デマンド交通利用者



● 井栗地区デマンド交通利用者



● 高校生通学ライナーバス利用者

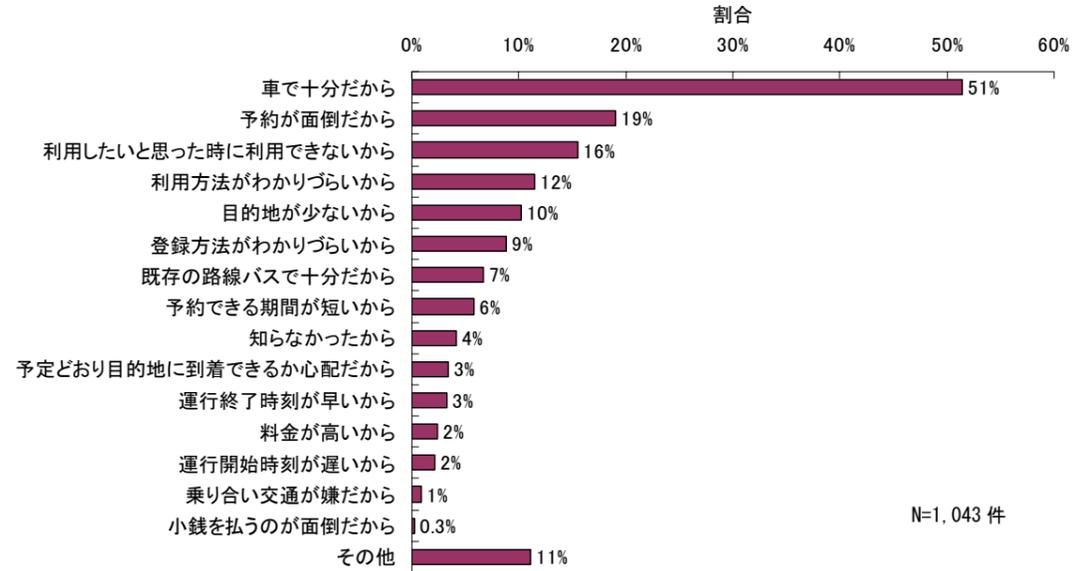


⑧利用しなかった理由

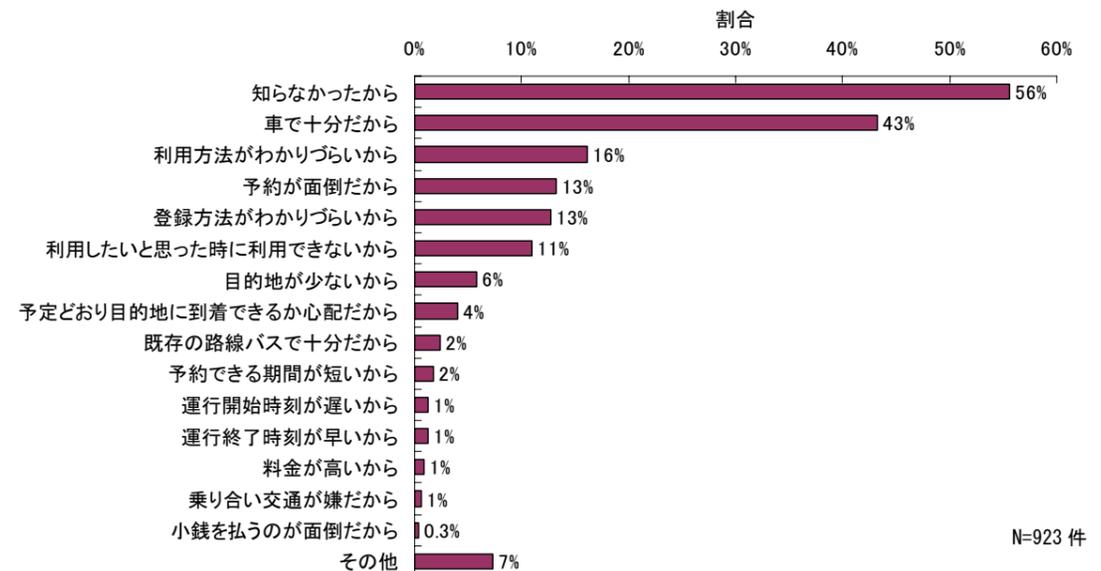
- 下田地区および井栗地区のデマンド交通非利用者の利用しない理由では、「車で十分だから」が最も多く、次いで「予約が面倒だから」であった。
- 市街地のデマンド交通非利用者では、「知らなかったから」が最も多かった。
- 高校生通学ライナーバスの非利用者では、「自分が通学する高校を経由しないから」が最も多かった。

〔利用しなかった理由〕

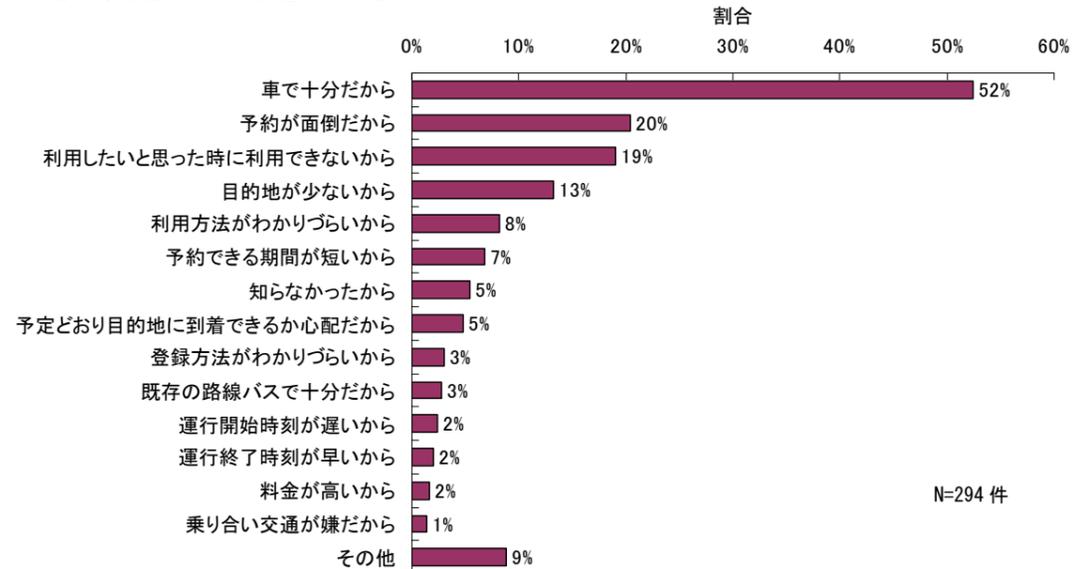
● 下田地区デマンド交通非利用者



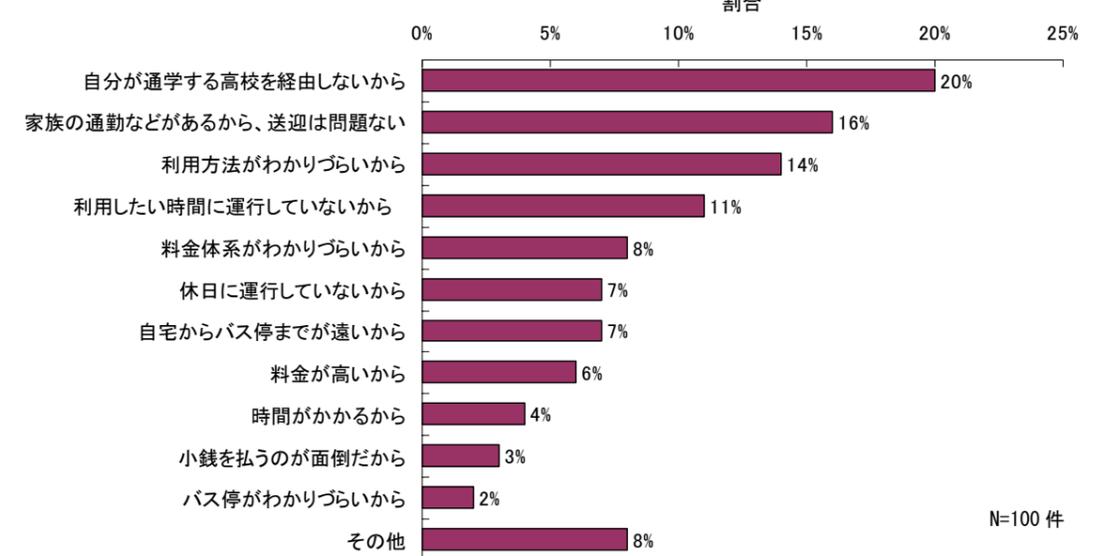
● 市街地デマンド交通非利用者



● 井栗地区デマンド交通非利用者



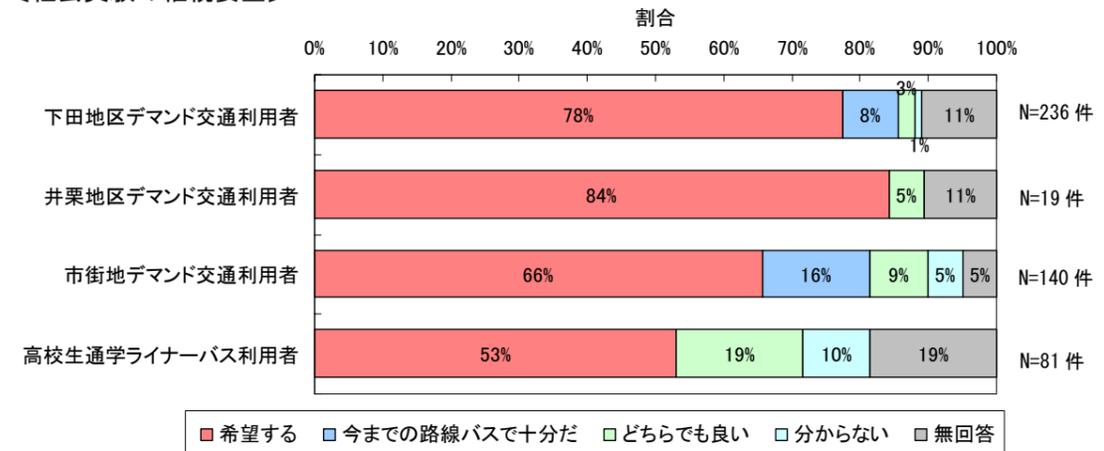
● 高校生通学ライナーバス非利用者



⑨運行継続の要望と将来への期待

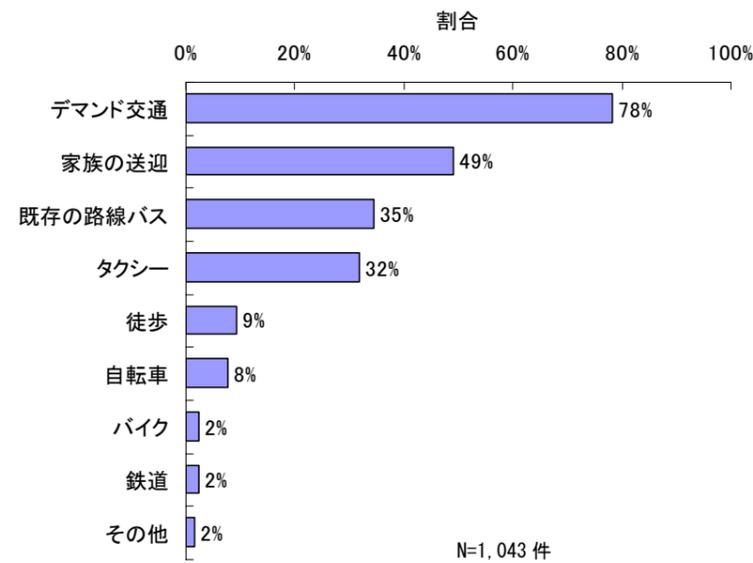
- 下田地区および井栗地区デマンド交通は、利用者の8割が社会実験の継続を要望した。
- 一方で、市街地デマンド交通については、利用者の7割が継続を要望したが、2割が今までの循環バスで良いと回答した。
- 将来運転できなくなったときに選択する交通手段で最も多い回答は、いずれの地区においても、デマンド交通が最も多く、将来への期待が高いことが伺える。

〔社会実験の継続要望〕

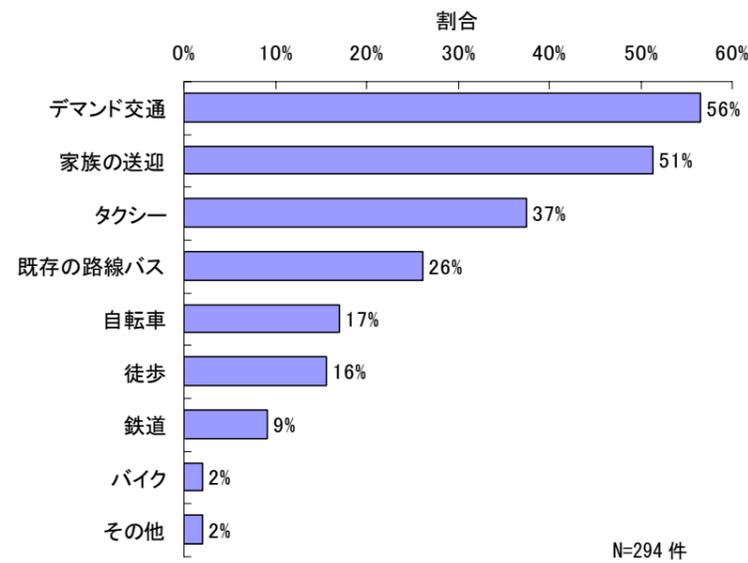


〔将来運転できなくなったときに選択する交通手段〕

●下田地区デマンド交通非利用者



●井栗地区デマンド交通非利用者



●市街地デマンド交通非利用者

